

## 5 呼吸用保護具の適正な選択、使用及び保守管理の具体例

事業者は、アーク溶接作業を行う場合、有効な呼吸用保護具を労働者に使用させなければならないが、呼吸用保護具の適正な選択、使用及び保守管理の推進を図るため、事業者が行っている事例としては、次のようなものがある。

### (1) 保護具着用管理責任者の選任

- ・ 製造ラインごとに保護具着用管理責任者を選任している。
- ・ 保護具着用管理責任者を複数（例えば正副2名等）を選任している。

### (2) 呼吸用保護具の適正な選択、使用及び保守管理の推進

ア 呼吸用保護具の適正な選択、使用、顔面への密着性の確認等に関する指導の例

- ・ 雇入れ時に教育を実施している。
- ・ 保護具着用管理責任者が定期的に作業場を回り、確認している。
- ・ 毎日の朝礼のときに指導している。
- ・ 呼吸用保護具メーカー等の専門家に指導を依頼している。
- ・ 複数の呼吸用保護具の中から、個人ごとにフィットテストを行い、選択している。
- ・ 複数の呼吸用保護具の中から、使いやすさ、装着感等を比較し選択している。
- ・ 作業中に、お互いに声をかけ、確認している。

イ 呼吸用保護具の保守管理及び廃棄の例

- ・ 呼吸用保護具やフィルター等の部品について定期的な交換（例えば1日1回等）をしている。
- ・ チェックリストにより保守管理状況を確認している。
- ・ 作業標準中に、フィルターの交換等について規定している。
- ・ マスク保管庫を作業場ごとに配置している。

ウ 呼吸用保護具のフィルタの交換の基準を定める等のフィルタの管理の例

- ・ 呼吸用保護具やフィルター等の部品の交換について、個人毎に台帳に記入している。
- ・ チェックリストや見本と比較する等の交換基準に従って、交換している。

ご不明の点などがありましたら、最寄りの都道府県労働局・労働基準監督署にお問い合わせください。